MAYACAMAS

2021 Mayacamas Cabernet Sauvignon Mt. Veeder Napa Valley

マヤカマスは、マウント・ヴィーダーの頂上近くに位置する老舗ワイナリーで、その歴史は1889年までさかのぼります。1968年に、当時ハイツ・セラーズでワイン造りに携わっていたボブ・トラバースがワイナリーを購入しました。1976年の「パリ・テイスティング（パリスの審判）」の赤ワイン部門では、1971年産のカベルネ・ソーヴィニョンが7位に入賞します。さらに、2006年に行われたこのテイスティングの30周年記念イベントでは、同じワインがフランスのグランヴァンを抑えて見事3位に輝きました。これは、マヤカマスのワインが長期の熟成を経ることで、本来のポテンシャルが十分に引き出されるワインだと世界的に証明された瞬間でした。

2013 年からは、ショッテンスタイン財閥の傘下となり、スクリーミング・イーグルの元ワインメーカーであり天才若手醸造家として注目されているアンディ・エリクソンが醸造を監修していましたが、現在は新時代の若き才能ブレイデン・アルブレクトがワインを造っています。また、長期にわたり放ったらかしにされていた畑の植え替えを担当しているのは、カリフォルニアにおいてのオーガニック＆バイオダイナミック農法のパイオニアとして知られるフィル・コトゥーリです。彼らの目標はただ一つ、それはワイナリーの120 年以上の歴史に恥じることのない高品質で伝統的なスタイルのワインを引き続き世に送り出すことです。

テイスティングノート

2021年マウント・ヴィーダーでの生育期は、早い段階から色合いと風味に深みをもたらし、凝縮した香りを持つ小粒のブドウを生み出しました。冬の降雨量は少なく、2年目の干ばつとなりました。実際、この2021年は過去55年間のデータで最も少ない総降雨量を記録し、平均な雨量約1,190mmに対してわずか約450mmでした。この乾燥した気候が大きな原因となり、収量の低下や自然にバランスの取れた畑がもたらされ、例年より早く集中的な収穫が行われる結果となりました。

過去には、アメリカのワイン評価誌「Wine Spectator」が毎年その年の 100 のワインを決める名物企画『2019 年 TOP 100』において、2015 年マヤカマス カベルネ・ソーヴィニヨンが 2 位に輝きました！

ワインメイキング

2021年のカベルネ・ソーヴィニヨンは、11区画の自社畑と1区画の契約栽培畑のブドウから造られており、それぞれ8月31日から9月9日の間に手摘みで収穫されました。ワイナリーにて手作業での選果の後、除梗を行いました。発酵は、コンクリートタンク、ステンレスタンク、オークのパンチョン樽を組み合わせて低温で行われ、マセラシオンの期間は平均的な19日間でした。その後、ワインはニュートラルなフードル樽と500Lのパンチョン樽で20か月間、225Lのニュートラル・フレンチオーク樽で12か月間熟成されました。

ナパ・ヴァレー屈指の低収量が特徴のマウント・ヴィーダーは、冷涼な山岳気候に恵まれた唯一無二のアペラシオンです。痩せた火山性土壌や太古の海底層など変化に富んだテロワールを持ち、そこで育つブドウは、豊かな酸と洗練されたミネラル感を備えた澄んだ味わいを生み出します。

データ

ワイン名：	マヤカマス・ヴィンヤーズ　カベルネ・ソーヴィニヨン マウント・ヴィーダー ナパ・ヴァレー
ブドウ品種：	100% Cabernet Sauvignon
アルコール度数：	14%
希望小売価格：	¥37,000（税別）

